

強震応答実験室 実験報告書「医療機器を免震化した場合の挙動確認実験」(2014/2/4, 5実施)

1. 実験目的

医療機器を免震化した場合、免震化しない場合それぞれの強震時における挙動を確認する。免震化医療機器の強震時における保全性を確認し、免震医療機器の免震化手法を確立する。

2. 実験方法

試験体（アボットジャパン社製 生化学・免疫発光自動分析装置）は、免震試験体および非免震試験体の 2 種類とし、入力波は、2011 年東北地方太平洋沖地震波（K-NET 仙台波）、1995 年兵庫県南部地震波（JMA 神戸波）及び 2004 年新潟県中越沖地震波（JMA 小千谷地震波）とする。

3. 試験体

写真 1 に免震試験体、写真 2 に非免震試験体の状況を示す。



写真 1 免震試験体



写真 2 非免震試験体

4. 試験結果

図 1 に医療機器の応答加速度時刻歴を示す。免震装置の採用により、医療機器の応答加速度を低減できることが確認された。

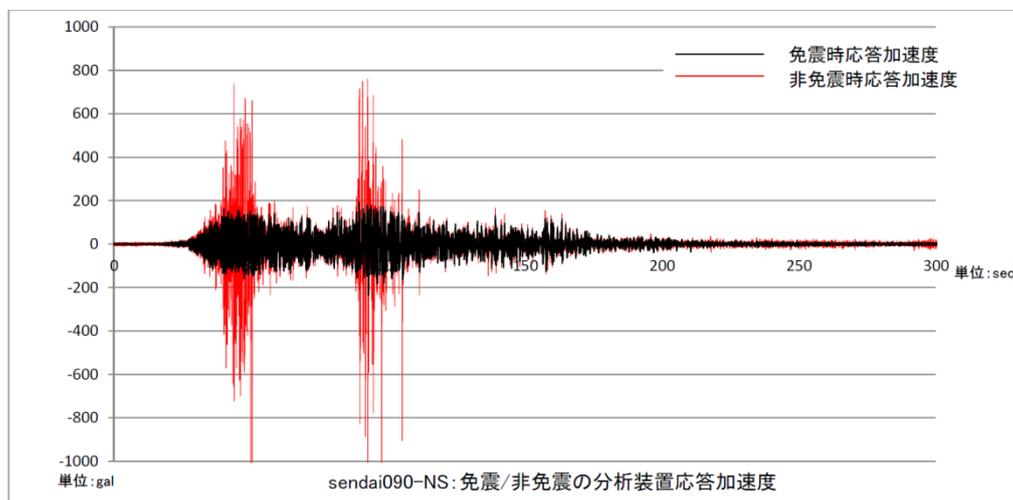


図 1 医療機器の応答加速度時刻歴 (K-NET 仙台波入力時)